

2006年8月21日

## チャレンジ九州・中小企業がんばれファンド

### 第1号投資先企業の決定のお知らせ

#### 九州大学発創薬ベンチャー企業 「アキュメンバイオフーマ株式会社」に出資内定

株式会社コア・コンピタンス九州(略称:CCQ、本社:福岡市 代表取締役 森 大介)の100%子会社である株式会社CCQプリンシパル・インベストメント(略称:CCQPI、本社:福岡市 代表取締役 森 大介)を無限責任組合員として、株式会社九電工・独立行政法人中小企業基盤整備機構(中小機構)を有限責任組合員として本年4月に設立致しました「チャレンジ九州・中小企業がんばれ投資事業有限責任組合」(略称:チャレンジ九州・中小企業がんばれファンド)は、投資先第1号としてアキュメンバイオフーマ株式会社が実施する第三者割当増資の引受けを内定致しました。

チャレンジ九州・中小企業がんばれファンドは、九州地区に拠点を置き、更なる飛躍の可能性を秘めた中小企業を積極的に支援するプログラムであり、当ファンドを通じて数多くの中小企業がアイデア・技術・ノウハウを開花させ、九州経済の更なる発展に貢献するべく設立いたしました。この観点に基づき、アキュメンバイオフーマ株式会社の九州大学医学部研究をもとにした高い技術力、加齢黄斑変性の治療薬開発という社会的に大きな意義を持ち、且つ、成長性の高い事業を中核としている点を評価し、第1号投資先企業として選定致しました。

#### 投資先企業/アキュメンバイオフーマ株式会社について

2005年に設立された九州大学医学部発創薬ベンチャーであるアキュメンバイオフーマ株式会社(本社:福岡市 代表取締役社長 鍵本忠尚)は、失明撲滅を企業理念に掲げ、米国で中途失明原因第1位、日本で第2位であるものの根本的な治療法が未だ存在しない加齢黄斑変性の治療薬の開発を進めております。失明の危険に苛まれる加齢黄斑変性患者を救う創薬開発として、国内外から多くの注目を集めております。

#### 【アキュメンバイオフーマ株式会社 会社概要】

会社名	アキュメンバイオフーマ株式会社
本社	福岡県福岡市東区馬出 1-13-9 サンヨシダビル 7F
研究室	福岡県福岡市東区馬出 3-1-1 コラボステーション 604
代表者	代表取締役社長 鍵本忠尚
事業内容	医薬品開発事業、医療機器事業、手術補助剤開発事業
資本金	2億7,380万円

## 「チャレンジ九州・中小企業がんばれ投資事業有限責任組合」概要

ファンド総額	10億円程度
ファンド設立形態	投資事業有限責任組合
無限責任組合員	・ 株式会社CCQプリンシパル・インベストメント <a href="http://www.cckyushu.com">http://www.cckyushu.com</a>
有限責任組合員	・ 株式会社九電工 <a href="http://www.kyudenko.co.jp">http://www.kyudenko.co.jp</a> ・ 中小企業基盤整備機構 <a href="http://www.smrj.go.jp">http://www.smrj.go.jp</a>
投資対象	主な拠点が九州圏内（九州各県・山口県・沖縄県）にあり、優れたアイデアや技術・ノウハウ・ビジョンをもって新商品の開発、新事業展開にチャレンジする中小企業（業種・業歴不問）
主な投資形態	・ 株式（普通株・優先株）、新株予約権付社債の取得 ・ 融資、新株予約権付融資
組合の存続期間	約7年（但し、2年を限度に延長可）

「がんばれ！中小企業ファンド」出資事業は、平成16年度から中小企業庁にて、新たに実施された中小企業支援施策であり、同行が所轄する(独)中小企業基盤整備機構が実施機関として、ファンド総額の1/2を上限に出資を行い、目利き能力や販売ネットワークを有する民間パートナーとともに投資ファンドを組成し、投資先の経営実態に即した資金供給と踏み込んだ経営支援により、中小企業の新事業展開・第二創業へのチャレンジを積極的に支援するためのものです。

### ・この件に関するお問い合わせ

株)CCQプリンシパル・インベストメント <http://www.cckyushu.com/>

〒812-0029 福岡市博多区古門戸町2-4 KSコモンドビル2F

TEL：092-283-9190（代表） FAX：092-283-9188 E-mail：[challenge@cckyushu.com](mailto:challenge@cckyushu.com)

九電工ファンド

# 九大VBに出資

第1号  
2400万円

## 眼科手術の薬剤開発

九電工などが立ち上げた九州の中小企業を支援するファンド「チャレンジャー九州・中小企業がんばれファンド」の出資先第一号が決まった。九州大学発の医薬品開発ベンチャー、アキユメンバイオファーマ（福岡市、鍵本忠尚社長）に二十八日、二千四百万円を出資する。糖尿病網膜症などの眼科手術補助剤の開発費に充て、二〇〇八年末をメドに製造販売承認を目指す。

同ファンドは九電工と中小企業基盤整備機構が四月、九州域内の中小企業を支援する目的で組成した。ファンド総額は約十億円で、コア・コンピタンス九州（福岡市、森大介社長）が財務面を審査して出資先を選定する。森社長は「アキユメンは世界に通じる有望な技術を持っている」と選定した理由を話している。

アキユメンが開発を指している薬剤「DYM-E（タイム）」を使用すると、眼底の内境界膜を染色して網膜の手術がしやすくなる。〇八年末に米国で、〇九年末には日本で製造販売承認を目指す。開発費は二億円強で、年間売上高は日米で計四億円を見込む。

アキユメンは〇九年の株式公開を目指している。